

平成28年度県立中学校入学者選考問題

適性検査

注 意

- 1 「始めなさい」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 検査時間は、9時55分から10時45分までの50分間です。
- 3 問題は [1], [2], [3], [4], [5] で、表紙を除いて10ページです。
また、別に解答用紙が2枚あります。
- 4 「始めなさい」の合図があったら、すぐに受検番号をこの表紙と解答用紙
【1】、【2】の決められたらんに書きなさい。
- 5 答えは、必ず解答用紙の決められたらんに書きなさい。
- 6 「やめなさい」の合図があったら、すぐやめて、筆記用具を置きなさい。

受 検 番 号

番

1 ひとみさんとはるとさんのクラスでは、社会科の時間に、^{とちぎ}栃木県の主な農産物について学習しています。

先生： 栃木県の農産物の中で、全国的に見て生産量の多いものには、どのようなものがありますか。

ひとみ： はい。いちごやかんぴょうがあります。

先生： そうですね。ほかには何かがあるか知っていますか。

はると： はい。にらや^{ぎゅうにゅう}牛乳も全国的に見て生産量が多いと聞いたことがあります。

先生： よく知っていますね。それでは、それらの農産物が栃木県のどの辺りで生産されているか見てみましょう。

先生は、次のような資料（図1）を示しました。

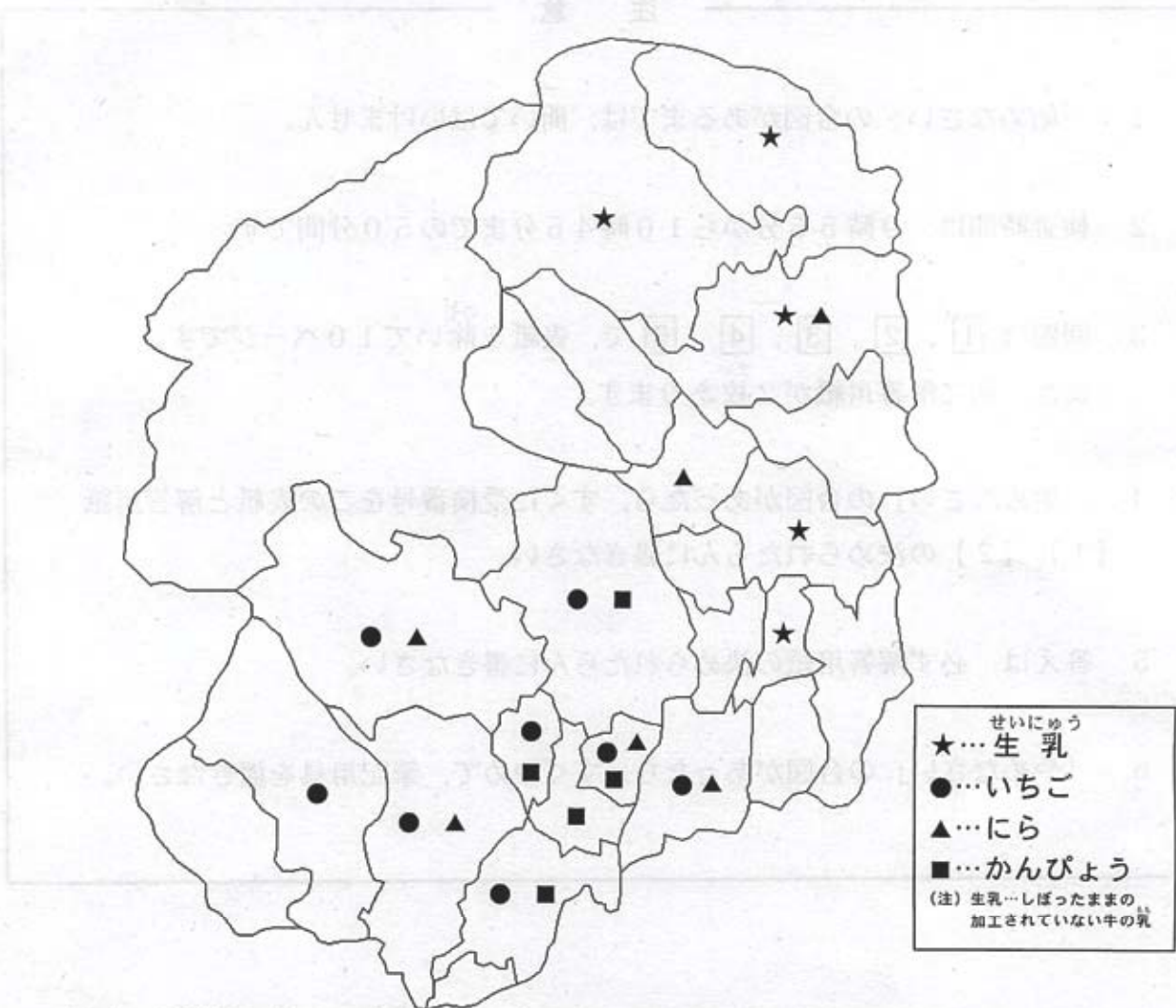


図1 栃木県における生乳・いちご・にら・かんぴょうの主な生産地

(とちぎ地産地消費民運動実行委員会事務局「平成25年度とちぎの地産地消」をもとに作成)

先生： この資料を見て、何か気がついたことはありますか。

はると： 農産物によって、生産される地域が違ってくるのがわかります。

先生： いいところに気がつきましたね。それでは、それぞれの農産物について、くわしく見ていきましょう。まず、かんぴょうについて注目してみましょう。かんぴょうはどの辺りで生産されていますか。

ひとみ： この資料を見ると、かんぴょうは主に と言えそうですね。

【問1】 ひとみさんの発言の に入る最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 県の中央部から東部にかけて生産されている
- イ 県の中央部から西部にかけて生産されている
- ウ 県の中央部から南部にかけて生産されている
- エ 県の中央部から北部にかけて生産されている

次の時間に、かんぴょうと並んで、代表的な農産物であるいちごについて学習することになりました。

先生： みなさんも知っていると思いますが、いちごの生産量は、栃木県が全国1位ですね。では、その品種にはどのようなものがあるか知っていますか。

はると： はい。とちおとめが有名です。

先生： とちおとめは、栃木県で開発された品種ですが、最近ではほかの県でも生産され、東京などに出荷されるようになってきました。

先生は、次のような資料（図2）を見せてくれました。

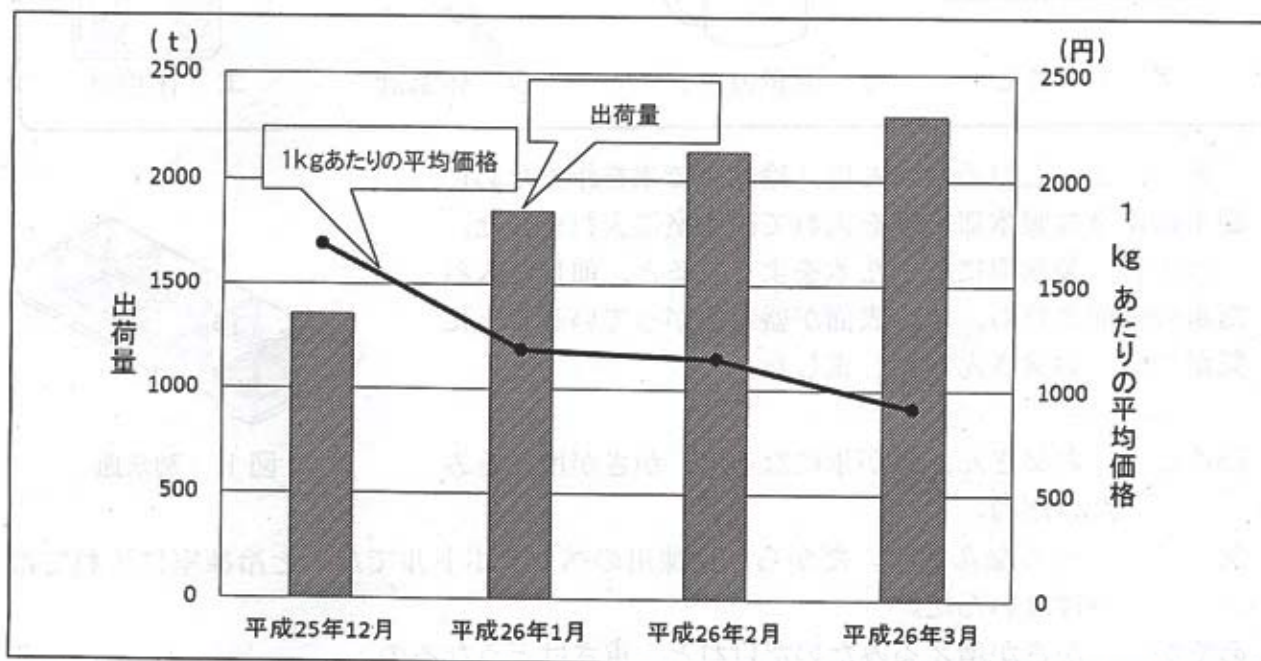


図2 12月から3月までのいちご（とちおとめ）の出荷量と1kgあたりの平均価格の変化
（「東京都中央卸売市場年報」をもとに作成）

先生： これは、12月から3月にかけてのいちごの出荷に関するグラフです。

この資料の二つのグラフから、どのようなことがわかりますか。

はると： はい。12月から3月にかけて、いちごの出荷量は増え、ことがわかります。

【問2】 はるとさんの発言の に入る適切な言葉を、答えなさい。